

平成29年度後期研修を開始する専攻医のみなさんに

院長 隠岐尚吾

大阪赤十字病院の専攻医として新たに研修を開始するみなさんに、病院長として一言ご挨拶を申し上げます。

明治42年に創立された当院は、100年を超す長い伝統と実績を有する高度急性期病院です。当院の理念、「人道、博愛の赤十字精神に基づき、すべての人の尊厳を守り、心のかよう高度の医療をめざし」て、広範な診療圏から患者さんを受け入れ、各部門が活発に診療を行っています。地域の中核病院としての専門診療とともに、救命救急センター、災害拠点病院としての活動にも力を入れています。また、国際救援拠点病院として毎年多くの職員を海外に派遣しています。当院には多種、多様な疾患を持つたくさんの方が来院されます。みなさんが豊富な臨床経験が積めることを期待しています。

医学の進歩に伴って現代医療は細分化され、専門化されてきました。専門診療の質は各段に上がりましたが、一方で、超高齢社会を迎え、複数の疾患を有する患者さんが増加しています。患者さんが持つ専門以外の疾患や、社会的背景にも対処していかなければなりません。みなさんは初期研修で多くのプライマリケアを経験し、医師としての基本姿勢を学びました。初期研修の経験を活かし、患者さんに最適な医療を提供することを心がけてほしいと思います。

団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けての国の医療制度改革、「診療機能の分化と医療連携」が進められ、日本の医療は大きな転換期にあります。DPC制度の普及により診療内容が透明化され、治療の標準化が進んでいます。診療の電子化で、医療スタッフ全員に情報が共有され、医療安全や診療の質の向上が求められています。専門医制度も動き出しています。病院は社会から求められる医療を実践していかなければなりません。時代が大きく変化していくなかで、自らのキャリアアップとともに、時代に求められる医療を実践し、その中心となって活躍することを期待しています。

これからは学会や院内外の研修会で活躍する機会も増えるでしょう。研修医の諸君の指導にも直接関わるようになるでしょう。次代を担うみなさんが、若い医師のモデルとして、飛躍できる3年間であることを期待します。健康に留意し、当院の医療スタッフの一員として頑張ってください。